

熊本地方を震源とする地震により被害に遭われた皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。
被災された皆様のご心痛とご不便はいかばかりかと拝察いたしますとともに、亡くなられた方々に心よりお悔やみを申し上げます。
一日も早く安全と平穏な生活が戻りますことを、心よりお祈り申し上げます。

株式会社 巴商会
代表取締役社長 熊澤 康信

なお、弊社におきましては社員の安全は確認されており、通常どおり業務を継続しております。
今後とも何かお力になれることがございましたら、遠慮なくお申しつけください。

感震器作動時対応手順書

■台風・地震・水害・雷などの大規模災害の後に温水発生機を使用する前の点検・確認
台風・地震・水害・雷などの大規模災害の後に温水発生機を使用する前は、次の点検を行ってください。
異常があった場合は、運転を中止し、当社に修理を依頼してください。

- ①機械室外・内で異常が確認されないこと。
- ②燃烧炉の煙突（排気筒）の先端部が障害物やゴミなどにより閉塞されていないこと。
- ③燃烧炉の煙突（排気筒）が外れたり、隙間や穴が開いていないこと。
- ④燃烧炉が設置されている部屋の換気が確保できていること。
（給気口が閉塞されていないこと。）
- ⑤電源回路に漏電などの異常がないこと。
- ⑥燃烧炉の排風機と送風機に作動不良や異常音などがいないこと。
- ⑦燃料・水・配管及び排水設備に水漏れなど異常がないこと。

地震で感震器が作動した時は、上記点検事項を調査し、異常が無く安全が確認されてから復帰して下さい。

※ガス臭や油漏れがある場合は復旧作業を行わないでください。

感震器復帰方法

機器の感震器のリセットレバーを上げ、異常をリセットして下さい。
感震器の作動をリセットすると感震器のランプが消灯します。



ガス燃料で上記作業によって復旧しない場合、ガスのマイコンメーターの確認を行ってください。
詳しい説明はガス会社ホームページを確認ください。